

盛岡中央高等学校附属中学校 災害対応マニュアル

※刻々と変わる災害の状況変化によって、本マニュアル通りの対応とならない場合もあります。

1 台風・大雪・交通マヒ等による臨時休校

1. 朝6時の時点で、「特別警報」が発令されている場合、原則として臨時休校とする。
2. 上記1または、その他の理由により臨時休校とする場合は、緊急連絡網・公式 Facebook・ホームページ等にて各家庭に連絡をする。

※平常授業時でも地域により登校が困難な場合は、無理な登校は控える。

2 大地震に対する対応

1. 大地震発生時

【表1】 在校時に発生した場合

	教職員	注意点
安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ドア、窓を開け、避難口を確保する。 ・的確な指示を大きな声でする。 「机の下もぐる」「頭を守る」「机の脚をしっかり持つ」 ・生徒の気持ちを落ち着かせ、行動指示をする。 ・緊急放送があればその指示に従う。 ・落下物、壁、ロッカーに注意させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒1人1人が勝手な行動をとらないように指導する。 ・あわてて外へ飛び出さない。
余震発生前に避難指示	<ul style="list-style-type: none"> ・校内放送による避難指示をする。 ・中庭への避難を指示する。 ※トイレにも大きな声で声をかける。 ・移動時は、「お・は・し・も」を徹底する。 ⇒「<u>お</u>さない・<u>は</u>しらない・<u>し</u>ゃべらない・<u>も</u>どらない」 ・火の始末をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドア付近、出入口でパニックになる可能性があるため、生徒の気持ちを落ち着かせ、行動する。 ・避難の途中で絶対に戻らない。
安否確認 被害状況把握	<ul style="list-style-type: none"> ・中庭で体育館に向かって中学校校舎側から中1、中2、中3、高校の順に各クラス出席番号順1列で並ぶ ・クラス責任者は生徒の人数を確認し、在籍数、欠席数、現在の人数を副校長に報告する。 ・負傷者の手当てをする。 ・消火活動を行う。 ・2次被害に気をつけ、行方不明者の搜索をする。 	<p>【クラス責任者】</p> <p>授業中：授業担当者</p> <p>休憩時間中：担任または副担任</p>

【表2】登下校時に発生した場合

	教職員	生徒の行動及び注意点
安全確保 避難指示	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤途中の場合は学校へ向かう。 ・帰宅途中の場合は帰宅する。 ・在校中の教職員は、放送により直ちに生徒を中庭へ避難させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全確保をし、動揺からパニックに陥らないように落ち着いて周囲の状況を見る。 ・電車、バス乗車中は、駅員や運転手の指示に従う。 ・ビルの破損、ガラスの落下、ブロック塀や自動販売機の倒壊、道路の陥没などに注意する。 ・なるべく道の中央に移り、頭や体をカバンやコートで覆い、落下物から身を守る。 ・倒れた電柱や切れた電線に近づかない。 ・火災現場からなるべく遠ざかる。
避難指示 安否確認	<ul style="list-style-type: none"> ・中庭で在校中の生徒の人員を確認する。 ※以降については在校中と同じ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな揺れが収まったら、学校、自宅、避難場所のうち1番近い場所に避難する。 ・すぐに学校または自宅に戻れない場合は、避難所に避難し、安全確保した後、電話やメール、伝言ダイヤル等で安否の連絡を家族（学校）にする。

【表3】休日、夜間に発生した場合

	教職員	生徒
安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅待機の上、学校からの指示を待つ。 ・管理職、学年長は原則出勤し対策本部を立ち上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅または避難所で待機する。

2. 大地震発生後の対応

(1) 生徒が在校時に大地震が起き、生徒の帰宅が難しいと判断した場合

- ・原則として、すべての生徒を学校で待機させる。
 - ・保護者の迎えがある生徒については、随時保護者に引き渡し帰宅する。
 - ・徒歩、自転車通学者は保護者と確認後、順次帰宅する。
 - ・公共交通機関利用通学者は、交通機関が回復次第、保護者と確認後、順次帰宅する。
 - ・原則として、日没前に近隣の避難所（盛岡市立北陵中学校体育館）へ移動する。
- ※教職員は、持ち出し書類（出席簿、生徒指導要録補助簿、生徒個人写真一覧）を持って移動する。

(2) 登下校時に大地震が起きた場合

- ・公共交通機関利用中の場合は、鉄道、バス会社の指示に従い行動する。
- ・学校、自宅、避難場所のうち1番近い場所に避難する。
※すぐに学校または自宅に戻れない場合は、避難所に避難し、安全確保した後、電話やメール、伝言ダイヤル等で安否の連絡を家族（学校）にする。
- ・登校した場合は（1）に準ずる。

(3) 在宅時に大地震が起きた場合

自宅待機とする。

3. 大地震発生時の学校からの連絡方法

緊急連絡網・公式 Facebook・ホームページ等

※上記の連絡方法が利用できない場合、玄関に掲示をする。

（日没後は、原則、近隣の避難所で待機しているため、保護者への引き渡しは避難所で行う。）

4. 学校の再開

- ・学校内の安全、公共交通機関の回復を確認後、登下校の安全等を総合的に判断し、再開する。
- ・再開の連絡は、緊急連絡網、公式 Facebook、ホームページ等で行う。

3 火山現象、他国からの脅威等発生時の対応

- ・自治体の指示等から総合的に判断し、行動する。
※火山現象の場合、火山現象対応の近隣の避難場所（盛岡市立城北小学校体育館）へ移動する可能性がある。
ある。
- ・保護者への連絡は、緊急連絡網、公式 Facebook、ホームページ等で行う。

（参考）

学校近隣の避難所

- ・みたけ地区活動センター（学校からの距離 0.42km）
- ・盛岡市立北陵中学校体育館（学校からの距離 0.74km）
- ・盛岡市立城北小学校体育館（学校からの距離 1.09km）